

関西特殊工作油株式会社

顧客ニーズに応じた高性能な オリジナル油剤を供給

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



顧客のさまざまなニーズに応える開発・生産技術

業務内容 高性能で作業環境の 改善に貢献する油剤

金属加工時に用いる加工油剤や工業用潤滑油、洗浄剤の製造・販売を手がける。機械メーカーの純正加工油や大手メーカーの製品は大量生産で個別の加工条件に対応しにくい。これに対して小ロットニーズに特化し、顧客の加工条件ごとに求められる必要な性能を最大限発揮する製品を供給する。

龍俊行社長は「加工性を高めよう」とすると錆びやすくなったり、作業者の手荒れや臭気による作業環境の悪化につながる」と解説する。高性能で作業環境の改善に貢献する製品に仕上げるのは難しいが、50年間にわたって蓄積してきた技術でこの課題解決を図ってきた。

強み 油剤の開発は 料理のように

「素材の足し算、引き算をして、さらに隠し味を加えて計算式に収まらない味を出す」、龍社長は自社を「料理人」に例える。ユーザーにも「味見」をしてもらいながら作り上げる製品は顧客満足度が高い。昨今は国内で初めて実用化した植物由来油剤「ケミカットF-900」シリーズや、水溶性切削油剤「スーパークール」など低環境負荷で社会的な要請にも答える製品のアピールを強め、存在感を増している。さらにインコネルやチタンなど難削材向けに高い切削性と工具の長寿命化を実現した難削材深穴加工用の切削油剤なども製品化。高い評価を得ているという。

人材育成 将来世代に受け継ぐ 技術の深化

龍社長は平成26年から極圧試験器をはじめ各種試験機を導入し、添加剤による挙動の変化を調べて、データの「見える化」に取り組んでいる。切削油は材料の組み合わせが技術の核。このデータがこれからの競争力の源泉になる。さらにデータの充実による将来世代へのスムーズな技術継承も視野に入れる。一方、平成27年は新たにエネルギー分散型蛍光X線検査装置を導入した。これによりサンプル段階から不純物の混入がチェックできるほか、油剤原料や多様化する加工材料の成分分析が可能になった。検査装置の活用により開発コストの削減とスピードアップ、緻密な材料の配合を実現し、より高レベルの顧客ニーズに対応する。

今後の展望 航空業界を ターゲットに横展開

航空機分野を中心に難削材や非鉄金属の加工が増加傾向にある。環境規制も厳しさを増し、ユーザーが切削油に求める性能はさらに高水準になっている。国内の航空機産業はこれから期待される市場でもあり、「航空機業界を面とらえ、部品加工ユーザーと大型工作機械メーカーのつながりを狙ってアプローチしていく」と龍社長。「顧客に合う良い製品を開発していけば、長期間にわたって使ってもらえる関係が築ける」と自信を見せる。



顧客満足200%がスローガン

COMPANY PROFILE

関西特殊工作油株式会社

大阪
27

当社の 歴史

昭和41年に米国ハングスターファース社の金属加工油を販売する商社として設立。昭和58年、大阪府富田林市中小企業工業団地に工場を建設し、ユーザーニーズに合わせた自社製品の製造販売を始めました。多品種小ロット生産で難削剤や環境規制にも対応する油剤の開発を行っております。

加工条件に合わせ、機械や工具の能力を最大限発揮できる金属加工油を小ロットで製造・販売しています。

代表取締役 龍 俊行さん



■主な事業内容

金属加工油や工業用潤滑油、洗浄剤の製造・販売

■主な取引先（納入先）

自動車部品、工具、金型、工作機械、重工業、航空機部品各メーカーなど

住所／〒584-0023 富田林市若松町東3-4-28
TEL／0721-24-2480
FAX／0721-23-2307
創業／昭和41年5月
設立／昭和41年5月
資本金／1,000万円
従業員／7名

<http://ktk-lub.com/>